

第21回 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」結果概要

○日 時 平成30年11月19日（月）午前10時30分～午前11時10分

○場 所 宇都宮市役所 14階 大会議室

○内 容 1 開 会

2 あいさつ（森本委員長）

3 議 題

・ L R T車両について

4 報 告

・ 宇都宮ライトレール株式会社の増資について

5 そ の 他

6 閉 会

【主な発言の要旨】

3 議題

- ・ L R T車両について・・・資料1

【事務局】

- ・ 資料1 説明

【委員長】

- ・ L R T車両部会の部会長である望月委員とL R Tデザイン部会の部会長である吉田委員から補足をいただきたい。

【望月委員】

- ・ L R T車両部会においては、車両の設計に当たって、芳賀・宇都宮ライトレールの軌道線形や施設計画等の特徴を踏まえ、安全性・快適性の観点から、急勾配区間への対応等の技術的な事項や、内装レイアウトについて検討してきたところである。その検討を反映した設計内容が整ってきたことから、今回、L R T車両部会における検討内容を報告させていただいたものである。
- ・ 内装レイアウトの検討に当たっては、芳賀・宇都宮L R Tの路線特性として、ピーク時の最大輸送人員に対応する高い輸送力を確保し、できるだけ多くの座席数を確保するとともに、着席客だけでなく、立席客の快適性に配慮すること、高いバリアフリー性や利便性を確保することを基本として検討を進めた。
- ・ 今回の車両は低床式車両であることから、構造的に客室内にタイヤハウスがあり盛り上がるため、それを踏まえた上で、より多くの定員や座席数を確保するために、効果的な座席配置について、重点的に検討してきた。

- ・ また、バリアフリー性の向上を図るため、車椅子スペースや車内の動線等については、障がい者団体の意見を参考に検討を進めてきたところである。
- ・ L R T車両部会の大きな初期目標を達成するに至ったところであるが、今後とも引き続き、内装デザインの具体的な検討に伴い、車両構造や機能性に関する事項や、運賃收受方法の補完システム等について部会として検討を行う。

【吉田委員】

- ・ デザイン部会においても、車両外観と同じように内装の部分を地域性、独自性、先進性に配慮して全体をまとめた。その中で、**別紙1**にあるように内装の部分に稲妻を表現した黄色を配色として取り入れた。
- ・ また、機能性も大切であり、デザインを決定する中で、どのような機能を入れるかについては十分議論をしながら、その機能を果たした中で、**別紙1**のような車内の内装デザイン（案）になった。
- ・ イメージの段階であるが、このようなイメージとしながら、細部について、今後、検討していきたい。

【委員長】

- ・ 皆様から意見等があれば願います。

【中尾委員】

- ・ 軌道運送事業者としては、今回のデザインは流線型で、稲妻のごとく走れる素晴らしいデザインができたと喜んでいる。L R Tが開業すると、全国の鉄道ファンの方々が、宇都宮に殺到して見に来るのではないかと期待している。
- ・ 現在は図面上だけなので、できれば年内あたりに、運転席や車椅子スペースあたりをベニヤ板等で再現し、位置関係や運転士の視認性をできるだけ早く見せていただき、安心して運転できる車両にしていきたい。

【上野委員】

- ・ 車両構造や内装デザインが決定することで、町民に対する説明も具体化してきたところであり、ますます重要な時期になると考えている。
- ・ このような中、行政としては、費用の面において、車両1編成当たりの価格についての数字が具体化する中で、議会に対する説明や理解をしていただくことが重要になってくる。
- ・ そのような面では、町民に対しても具体的な説明をしやすくなってきた。皆様のご協力に感謝する。これからもよろしく願いたい。

【委員長】

- ・ 外観や内装が決まると市民・町民に具体的にこのようなものができること示すことができ大変良い機会である。
- ・ その他、皆様から意見等があればお願いします。

【行政アドバイザー】

- ・ LRT車両部会、LRTデザイン部会に参加し議論させていただいている。その中で、今回、全扉にICカードリーダーを設置することで、乗降の迅速化、利便性等が確保されていくということになる。具体的な乗降の動線や補完システムの設置等については、引き続き、スムーズに乗降できるように詳細な検討を進めていただきたいと考えている。

【行政アドバイザー】

- ・ 通勤や出張等で電車を使用しているが、一日でも早く利用してみたいと思わせるような素晴らしいデザインである。

【内野委員】

- ・ 部会の検討内容を尊重したい。中尾委員の意見のように、全国の鉄道ファンが素晴らしいと思うようなデザインである。特に女性が写真を撮って喜ぶデザインでもある。

【行政アドバイザー】

- ・ 宇都宮市は自転車のまちを推進しているので、そういった方の乗り継ぎについても検討していただきたい。
- ・ 外国からの観光客等が料金収受で戸惑わないようにしていただきたい。
- ・ 先日、宇都宮市で初めてバスを利用させていただいたが、前から乗るのか、後ろから乗るのか、Suicaが使用できるのかどうか等で戸惑うことがあった。宇都宮市に来られた方が、戸惑わないでLRTに乗れるようにしていただきたい。

【行政アドバイザー】

- ・ 今回の車両設計の中で、全扉にICカードリーダーを設置することは、速達性や利便性の向上で非常に良いと思うが、現金等の支払いによる補完システムの検討や自転車の固定設備等についても今後、検討していただければと思う。

【行政アドバイザー】

- ・ 車両の構造、デザイン等については異論がない。
- ・ 1点気になるのは、**別紙1**の2. 車両の基本仕様（案）でワンマン運転と記載があ

り、速達性・定時性の向上や、利用者の利便性を高めるとあるが、160人ぐらいの乗客が利用する中で、体調不良に陥る人や警察的な観点では、スリや痴漢等の犯罪行為が発生した場合に、鉄道のように各駅に駅員が配置されているわけではないので、そのような不意なトラブル時の対応策等を検討して欲しい。

【委員長】

- ・ 内装レイアウトを見ると、アテンダントスペースがあり、このような場所を活用しながら、トラブル時等でもできるだけ快適に利用していただけるように工夫が必要である。
- ・ 本日欠席の岸井委員から何かコメントを頂いていたら紹介願いたい。

【事務局】

- ・ 岸井委員からのコメントを報告させていただく。
- ・ LRT車両については、芳賀・宇都宮LRTの特徴を踏まえ、輸送力が高く、また、独自性の高い外観デザインに加え、内装デザインについても、バリアフリー性や快適性に配慮された車両となっていると思われる。
- ・ 車両の外観デザインや内装デザインが決まってきたことから、LRTと一体となった魅力ある都市づくりを実現していくためには、都市施設等と調和のとれた景観としていくことも重要であり、引き続き、デザインの検討を深めて欲しい。

【委員長】

- ・ 皆様からの意見等を受けて事務局から説明をいただきたい。

【事務局】

- ・ 運転席周りのスペースやICカードの補完システムについては、引き続き、検討を行っていく。

【委員長】

- ・ インバウンドやトラブル対応、自転車の持ち込み等は、各委員からの重要なご指摘ということでよろしいか。

【事務局】

- ・ 皆様からの意見については、今後の留意事項をいただいたということで、事務局としては受け止めている。
- ・ インバウンドやトラブル対応、自転車の持ち込み等については、これから議論していかなければならない。そのような点については、引き続き、皆様からご意見をいた

だき相談させていただきたい。また、L R T車両部会、L R Tデザイン部会において、議論を深めてまいりたいと考えている。

【委員長】

- ・ 皆様から前向きな意見や留意点をいただいた。今後は、事務局からの提案で進めていくことや留意点については検討していくことで了承してよろしいか。

【各委員，了承】

4 報告

- ・ 宇都宮ライトレール株式会社の増資について・・・資料2

【事務局】

- ・ 資料2 説明

【委員長】

- ・ 軌道運送事業者である中尾委員からコメントをいただきたい。

【中尾委員】

- ・ 宇都宮ライトレール株式会社の増資について、異論なく、深いご理解と暖かいご支援を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げます。今後は、2022年3月の開業に向け、運転士並びに技術要員を確保することに全力を挙げ、全国一の安心・安全な芳賀・宇都宮L R Tを目指し、立派に育成し、無事、開業を迎えたい。今後とも各委員の皆様方には、何かとお世話様になることと存ずるが、引き続き、何卒、暖かいご支援とご指導ご鞭撻の程、よろしく願い申し上げて、お礼の挨拶に代えさせていただく。

【委員長】

- ・ 報告事項ではあるが、皆様から異論がないということで、中尾委員から挨拶をいただいた。
- ・ 公認会計士である内野委員から補足はあるか。

【内野委員】

- ・ 今回の増資で資本金の額が5億円を超えないように抑えたということは、資料2に記載があるように、会社法上の大会社を避けることができる。資本金が5億円を超えると公認会計士ないし監査法人の監査を受けなければならない。監査については、費用が決まっていることから、その費用を抑えることができる5億円を超えないようにすることが望ましい。

5 その他

【事務局】

- ・ 次回の検討委員会については、後日、改めてご案内させていただきます。

【委員長】

- ・ ぜひ「team NEXT」新PRグッズ「缶バッジ」について事務局から説明をいただきたい。

【事務局】

- ・ 「team NEXT」新PRグッズ「缶バッジ」はLRT事業を応援していただいているチームネクストの取り組みの一環で作成したものである。
- ・ 「缶バッジ」を身に着けることによって、LRT事業を応援している証ということで、配布を始めたところである。
- ・ 現在、応援していただいているチームネクストの会員は約8千人いる。以前は、シリコンのラバーバンドをつけていたが、冬場、着用する衣服によって目立ちにくいとの意見があったので、「缶バッジ」を作成した。
- ・ 皆様にも配布させていただくので、ぜひPRをしていただきたい。

【委員長】

- ・ ぜひ、皆様でLRT事業を盛り上げていただきたい。

【事務局】

- ・ 以上で、本日の会議を終了する。

以上